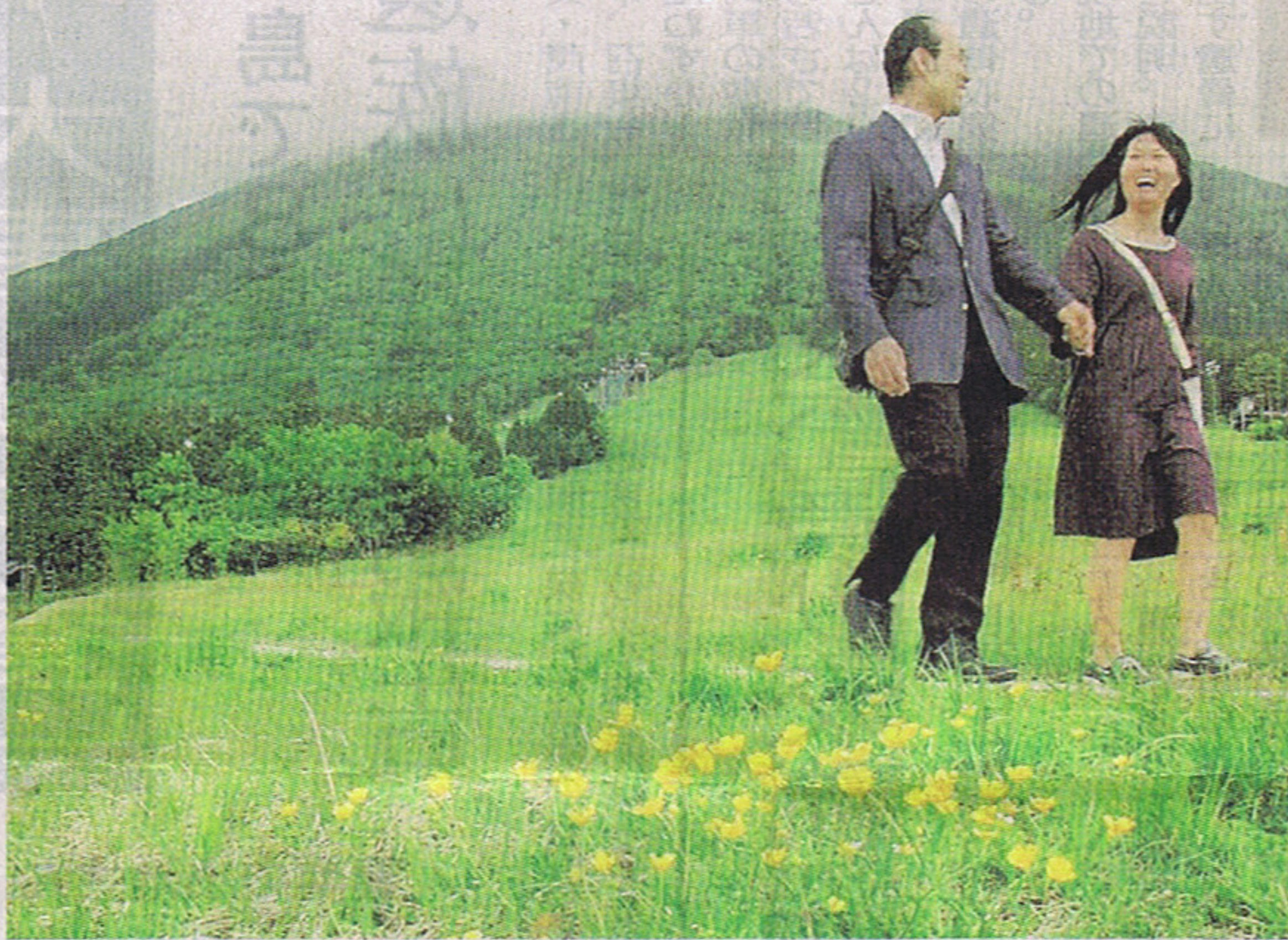


「恋人の聖地」に 大山・柘水高原

プロポーズにふさわしいロマンチックな場所として、静岡市のNPO法人が認定する「恋人の聖地」に、**国立公園・大山の柘水高原（鳥取県伯耆町）**が、山陰な称号をPRして観光客の増加を狙う。

NPO認定 地元は若者にPRへ



恋人の聖地選ばれた柘水高原を散策するカップル＝鳥取県伯耆町

両県で初めて選ばれた。夏は日本海の眺望、冬はスキーが楽しめる絶好の行楽地。同町は、若者受けしそうなPRして観光客の増加を狙う。

途中に立ち寄った鳥取県西部のカップルは「大山は2人が育った思い出の場所。風景が雄大で、いつ来ても気持ちいい」と話し、聖地選ばれたことを喜んだ。

恋人の聖地は、同法人が地域活性化支援センター（静岡市）が地域活性化を目指して2006年4月に始めた認定制度。計103カ所あり、ヴィーナフォート（東京都）横浜ランドマークタワー（横浜市）などが知られている。

同町は、柘水高原の観光客が40〜50代中心であることから、低年齢層の集客を思案していたところ、認定制度の存在を知り早速応募。5月25日の同法人の審査会で俳優の石田純一さん、ファッションデザイナーの桂由美さんらが審査した結果、聖地に認定された。

があり、大山を代表する観光スポット。ドライブ展望台、観光施設「大山まきばみるくの里」など